

平成 25 年度くまもと・わくわく基金助成事業報告

分野指定助成事業

くまもと歯っぴーかむカムひごまる協議会

【助成事業名】生きる喜びに繋がる口の機能の発達を促す「ベロタッチ」の普及事業

【助成金額】 177,000円

(ベロタッチマニュアルの作成、ベロタッチ研修会の開催等)

幼稚園や保育園などで、食べない、言葉が遅い、極端な偏食がある等の子どもの相談の解決策として、熊本市で開発した「ベロタッチ」は舌を刺激する簡単な方法で、副作用がなく、費用がかかりません。この方法を普及させるマニュアルを作成する為に、専門職とともに作成会議と編集会議をそれぞれ5回実施し、歯科医師会、歯科衛生士会の承認も得、保育園や九州管内の大学小児歯科学教室や子育てサークル、行政施設、歯科医師会等多数の団体に約 1000 部のマニュアルの配布ができました。

また、ベロタッチの研修会を開催し、協議会単独で 4 回開催、参加総数 141 名。熊本県歯科衛生士会での開催では4回開催で参加総数 151 名。宇城管轄保健師研修での開催では参加者数 28 名。学会での発表も行い、福岡市歯科医師会館で参加者 500 名と広くこの活動を伝える事ができました。

with women

【助成事業名】産後リハビリテーション概念 普及事業

【助成金額】 350,000円

(小冊子作成費及び講師謝金、会場費等)

with women のメンバーには、看護師、理学療法士、トランポリンインストラクター、保育士がいます。今回の助成金では、その専門性を活かした、産前産後から高齢女性（産後何年経過しても「産後」という考え）の身体作りやセルフケアの推進とマイナートラブルの改善を目的に、一般の方向けの講習会を 6 回、医療従事者向けの講習会を 4 回実施しました。

また、講習活動や専門的な内容をまとめた小冊子の作成も行って、産後リハビリテーション概念の正しい知識と実践の普及に繋げるきっかけと、講習会を通じ、定期的な運動習慣を提供することで、トラブルを起こしにくい身体づくりのサポートができました。

はーとりんく熊本

【助成事業名】命と心をつなぐ「手当て」で地域救護力アップを～応急救護手当て講習会～

【助成金額】 372,970円

（応急救護手当て講習会の実施）

命に万が一の事態の際に役立つ応急救護手当て（119番通報、心肺蘇生法、AEDの操作法、出血、やけど、のどづまり、熱中症ほかの）を学ぶ講習会を開催しました。地域救護力・地域防災力の向上を目的とし、国際救急法（MFA）インストラクターや看護師を講師に迎える本格的な内容で、熊本市地域コミュニティセンターを中心に地域の各施設で28回開催し、一般市民で命を救い、寄り添う手助けができる人材が419名誕生いたしました。

NPO法人 しらさぎ

【助成事業名】熊本城石垣除草・清掃ボランティア活動

【助成金額】 183,986円

（石垣除草作業に伴う費用）

平成25年7月6日熊本城内の石垣を中心とした指定箇所を、市内の学校や企業に呼びかけた総勢240名の参加者でもって、安全第一をモットーに、30度を超える炎天下の中で、テントを用意したり、熱中症対策に塩飴や十分な水分（ペットボトルドリンク）をも備えて臨み、無事に作業を終える事が出来ました。除草・草取りにより集められたビニール袋は85袋（430kg）にのぼり、武者返しの美しい石垣に戻りました。初参加の市民が前年より100名増え、作業が終了する頃には、達成感と連帯感が生まれました。

うえき自然塾

【助成事業名】野外体験を通してこども達に生涯にわたってたくましく生きる力の基礎を育成する活動

【助成金額】 100,000円

（里山の体験活動費用）

「うえき自然塾」では、こども達に将来にわたってたくましく生きる素地を身に付けさせたいと、北区植木町の田原地区の里山で、親子での自然体験活動を、月1回日曜日の午前9時から午後2時まで開催しました。活動内容は、竹を切ってマイ箸やお椀を作ったり、はんごう炊飯や石釜でピザを焼いたり、また、施設内の小川で遊んだり、季節に応じた活動を行い、日常の生活では体験できない内容を取り入れ、「作る」「食べる」「遊ぶ」の3つを軸として、その時々に応じて、活動内容に創意工夫を加えました。

昨年度は、主催行事を9回、地域の学校や園等の受入れ行事も行い、年間13回の活動で参加総数は737名となり、多くの参加者に喜んでいただきました。

NPO法人 日本防災士会・熊本県支部

【助成事業名】 地域住民とNPOを活用するまちづくりの人材育成講座

【助成金額】 110,000円

(HUG巡回出前講座・DIG訓練の開催)

自然災害が発生した場合に備え、「自助」として地域住民で防災・減災に関する知識と技能習得を目的に取り組みました。不測の事態に備える活動として、避難所マニュアルの勉強会並びにHUG（避難所運営ゲーム）に、熊本市東部公民館にて22名、熊本大学工学部にて35名、帯山西コミュニティーセンターにて27名、あいぽーとにて18名、南部住宅福祉センターにて60名の方に参加いただいた。またDIG研修（災害図上ゲーム）を帯山西校区にて18名、植木町文化センターにて130名の方に参加いただき実施した。避難訓練も併せて行った回もあり、一般市民だけではなく、防災士や工学部大学生などの知識を持っている方々へのスキルアップにも役立ち、これだけの人数の方に家族や地域の方を助ける防災の知識と技能を習得していただきました。

スタートアップ助成事業

NPO法人 熊本わくわく体操ボランティア協会

【助成事業名】地域福祉施設とNPOとのふれあいまちづくり・健康づくり事業

【助成金額】 100,000円（講師謝礼・会場費等）

まだデイサービスなどに行くには早いが、独り住まいで話し相手もないような方が地域にはたくさんいらっしゃいます。そのような方々を中心に呼びかけて近隣のコミュニティセンターでの活動に参加していただき、地域のネットワーク作りの一助となる事業を行いました。地域の自治会などに働きかけ、1件1件回り呼びかけ足を運んでいただき、わくわく体操（イスに座って行う体操）やゲームなどの活動をしたあとで、おやつを食べて親睦会という流れで、この活動が根付くよう、地域の皆様に研修を兼ねて行いました。公民館やコミュニティセンターにて30回行い、626名の方々に生き生きと参加していただきました。

NPO法人 ヒューマン・コミュニケーション・サポート

【助成事業名】H・C・Sワークショップ 親子コミュニケーション事業

【助成金額】 100,000円（テキストブック作成、会場費など）

子どもが健全に育ち活躍する為に、まずは両親と子どもが良好なコミュニケーションをとるための方法として、月1回のペースで6回にわたり内容の違うワークショップを行いました。呼吸法、ダンス、傾聴、笑顔作り、気功など多岐にわたるコミュニケーションの方法を98名の参加者に体験していただきました。また、当該事業をまとめたテキストブックやワークブックも完成し、これらのツールを使うことにより、だれでもこのワークショップが出来るようになりました。

あおぞら農園

【助成事業名】子どもたちによる耕作放棄地の再生、生ゴミリサイクルでの野菜作り実践

【助成金額】 100,000円（講師謝礼、種苗代など）

子ども達に野菜の栽培を種まきから体験させることで、食べ物に対する感謝の心や環境を大切にする心を育てる事を目的に、「生ごみリサイクルで元気野菜&元気人間づくり」と題し、熊本市東区戸島の230坪の耕作放棄地にて生ごみを利用した有機農法から始め、無農薬・無化学肥料での野菜作りを行いました。講演会を1回、夏野菜と冬野菜に分けてリサイクル土づくり実演会を8回、生ごみ処理容器づくり体験1回、米麴づくり体験を1回、家庭料理教室1回、12月には取れた野菜の大収穫祭を行い、合計69名の方に体験していただきました。